

令和2年度
第21期

事業報告書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

ひろしま・祈りの石国際教育交流財団
東京都台東区柳橋二丁目20番15号5F

1、はじめに

当財団は、教育を受ける機会に恵まれない途上国の子ども達を対象とする教育環境整備プロジェクトを資金面で支援することを主たる事業として展開して参りました。本年度も前年度に続き内外のボランティア団体や教育関係者に対する助成事業を行いました。従前同様途上国で活躍している民間非営利団体を対象として広く助成申請を働きかけ、ホームページを通じて公募を行ないましたが、最終的に財団所定の手続きを経て総額 8,871 千円の助成金を交付し、途上国の初中等教育環境向上に貢献する事業に対し、資金支援を行いました。

将来を担う子ども達の教育環境改善を通じて、国際理解・国際協調を促進するという財団の設立目的を着実に達成いたしました。

資金調達においては、法人 4 社および 107 人の個人の皆様から賛助会費を収受いたしました。

賛助会費収入は予算未達に終わり、賛助件数ならびに実績も前年度を下回りました。

2、主な活動

(ア) 国際教育活動支援事業

在日大使館を通じて支援を要請する団体からの申込があった場合には、例年その要請に対応していますが、当年度につきましてはその要請はありませんでした。

(イ) 助成事業

過去の助成実績を踏まえ、当財団の設立理念である『子ども達の識字教育支援を中心とする国際教育援助事業』を実施するべく、助成プログラムの情報発信を行ないました。財団ホームページへの助成募集要項掲載を中心に、電話やメール等による問い合わせの対応等を行った結果、コロナ禍の影響により、例年より大幅に申請件数が減り、3 団体から総額 4,418 千円の申請を受理しました。受付締切り後、事務局において個々の申請団体の事業遂行能力・関与度合い、成対象プロジェクトの当該地域コミュニティーにおける意義や効果、実施計画や予算の妥当性等を総合的に吟味いたしました。令和 2 年 3 月に外部の有識者を交えた助成案件選考委員会に事務局案を提示して慎重に審査を行なった結果、令和 2 年度の助成金支給候補先として 2 団体計 1,526 千円のプロジェクトが選考され、評議員会・理事会に諮問・付議する旨決定されました。

令和 3 年 3 月 25 日に開催された評議員会への諮問を経て理事会に付議され、議案どおり助成する旨の決議がなされました。

(ウ) 財団事業の PR、賛助会員の獲得と寄付金収入

本年度中に当財団支援のため賛助会費を納入した個人会員数は、107 人（家族会員・ジュニア会員を含む）に留まり、事業会社 4 社から受領した法人会費を加えても予算未達に終わりました。

3、収支決算の状況

(ア) 賛助会費および寄付金収入として、補正後予算において計 518 千円を見込みましたが、実績は 518 千円となりました。

(イ) 補正予算では事業費 4,500 千円、管理費 1,700 千円を支出として見込みましたが、本年度実績はそれぞれ 4,008 千円、1,687 千円となり、経常費用合計は 5,696 千円となりました。この結果、正味財産期末残高は昨年比 5,162 千円減少し、126,094 千円となりました。なお、令和 3 年 3 月開催の評議員会および理事会に於いて当初予算の変更が承認されています。

以 上